

製造元が迅速かつ信頼性の高いADバックアップ/リカバリを実現

Rehrig Pacific Companyは、Questを活用することでシンプルかつきめ細やかなActive Directoryのディザスタリカバリを実現



「綿密な計画を（Recovery Manager for Active Directoryを用いて）取り入れることでこの環境を確実に復旧できるようになれば、それはつまり適切な保険プランを購入したということになります。」

Rehrig Pacific Company, 情報/セキュリティ/IT部長, Brian Rowe氏

お客様のプロフィール



会社名	Rehrig Pacific Company
業種	製造
国	米国
従業員数	3,000
Webサイト	www.rehrigpacific.com

ビジネスニーズ

Rehrig Pacific Companyは、プラスチック製造大手の地位を維持すべく、Active Directoryのバックアップ/リカバリ機能の向上を必要としていました。しかしネイティブツールには制約があり、オブジェクトを細かくリカバリしたり、ダウンタイムなしでオブジェクトを復元したり、属性の変更を素早く特定したりすることは困難で、災害に見舞われた場合に、迅速かつ効率的に復旧できるだけの自信がありませんでした。

ソリューション

Quest®のRecovery Manager for Active Directoryを用いることで、Rehrig Pacific Companyは災害が発生した場合に必要な効率的なバックアップ/リカバリツールを手に入れることができます。包括的な機能により、環境内のあらゆるオブジェクトと属性を迅速にリカバリすることができます。このRecovery Manager for Active Directoryにより、同社は、ダウンタイムを削減し、ドメインコントローラーを再起動することなく、ユーザの業務を迅速に復旧させることができるようになりました。そのおかげで、今ではADの災害対策が整い、ずっと求めてきた安心感と自信も備わりました。

メリット

- Recovery Manager for Active Directoryは26分で導入可能で、フル・テスト・リカバリは20分で完了
- ADのオブジェクトを復元し、ドメインコントローラーを再起動することなく、ユーザの業務を迅速に復旧
- 削除または変更されたオブジェクトや属性を素早く特定
- ドメインコントローラーを再起動することなく、目的の属性だけを復元

ソリューションの概要

- [Microsoftプラットフォーム管理](#)

Rehrig Pacific Companyは、プラスチック製造業の最大手です。100年以上の歴史を持つ同社は、これまで環境ビジネスから小売業までさまざまな分野向けに、高品質で画期的な製品を提供してきました。そのビジネスの成功を支えるカギとなっているのが、複雑なActive Directory環境です。ITチームがQuest®のRecovery Manager for Active Directoryを用いることで、この環境はセキュアで常時利用可能な状態にあり、災害から守られています。

「当社からみて

Recovery Managerが特に優れている点は、導入サイクルです。導入するのにかかった時間は26分くらいで、導入後、フル・テスト・リカバリを終えるまではおそらく20分だったと思います。」

Rehrig Pacific Company, 情報/
セキュリティ/IT部長, Brian Rowe氏

イノベーションに必要な効率性、 そしてセキュリティ

Rehrigはさまざまな用途やビジネス向けにプラスチック製容器を製造しています。キャスター付きの収集用ゴミ箱であれ、リサイクルビンであれ、物流やサプライ・チェーン・ソリューション用の再利用可能なプラスチック製容器であれ、どの製品にもそれを生み出す共通の要因があります。それは効率性です。同社は顧客の弱みを把握しており、高品質で取り扱いやすい製品によって、その弱みを解消することを得意としています。一方で、イノベーションを持続させるためには、自社のITインフラストラクチャ - 具体的にはユーザアクセス、ユーザ識別情報、ユーザ認証の生命線であるActive Directory (AD) 環境 - をセキュアにする必要性も感じています。

「何をするにしてもすべてセキュアでなければなりません、識別できてこそ初めてセキュリティを確保できるのです」と、同社の情報/セキュリティ/IT部長であるBrian Rowe氏は説明します。「例えば、Active Directoryが機能せず、ロールマッピングのキーコンポーネントやセキュリティグループのメンバーシップがなければ、ERPシステムにはログインできません。これは、使用している重要なエンタープライズアプリケーションのいずれにおいても、まったく同じことです。」また同社は、Active Directory環境が損なわれた場合にビジネスの継続性や収益、評判に与える影響も理解しています。

「Active Directoryが機能しなくなれば、販売は一切できません」とRowe氏は言います。「受注できませんし、お客様にオーダーステータスのアップデートをお知らせすることもできません。また、キャパシティプラ

ニングを行ったり、社内全体で、どのお客様のどの製品に対しても新規のワークオーダーを作成したりすることができないのです。つまり、出荷が一切できないということにもなるわけです。」

こういった事態による影響を懸念した同社は、ディザスタリカバリ計画の改善に迫られ、Rowe氏が言うところの「壊滅的な災害が起きても、ADを1時間以内にペアメタルリカバリ可能な状態にしなければならないという確固たる公約」を立てることになりました。ADとAzure ADのハイブリッド環境のセキュリティ保護は時間がかかるうえに複雑です。ネイティブのリカバリツールの機能には多少制約があり非効率であることを考えると、複雑度はさらに増します。「Windowsのネイティブツールの活用方法といえば、ドメインコントローラーのペアメタルリカバリのフルイメージを作成することくらいで、しかも、そのフルイメージがなければ、Active Directoryを復旧して動かせる保証はありません」とRowe氏は言います。「問題を復旧させようと思っても、既存のバックアップリカバリツールの自前の機能で復旧させられるかは、どう見ても半信半疑に近い状態でしかありませんでした。」

製品とサービス

ソフトウェア

Recovery Manager for
Active Directory

Security Explorer

QUESTのソリューションとの出会い

ハイブリッドクラウド環境の場合、Rehrigの以前のバックアップ/リカバリ戦略はAmazon Web Services (AWS) 内のマネージド・ドメイン・コントローラーに大きく依存していました。同社にとってはAWSのインフラストラクチャは柔軟性が高く、サーバのスナップショットのバックアップや復元方法は使い勝手が良かったのですが、きめ細かな復元ができないため、その方法を利用できなくなってしまいました。

そこで必要としたのが、データを迅速、確実かつきめ細かくバックアップおよびリカバリするソリューションでした。このようなソリューションであれば、AWSで対応できない部分もカバーすることができるからです。市販のリカバリツールを検討したところ出会ったのがQuestでした。その評判の高さや製品についてはよく知っていたので、Questなら安全で災害に備えたAD環境を維持できる適切なサポートとツールがあるだろうと確信しました。

Recovery Manager for Active Directoryを導入し、その結果がすぐに表れたことで、その確信は功を奏しました。

常にシンプルに

特にRehrigの場合、Recovery Manager for Active Directoryのインストールと使用は、AWSの仮想マシン上で実行しているドメインコントローラーをバックアップして復元することが目的でした。Recovery Manager for Active DirectoryをEC2インスタンスに実装したところ、インストールやバックアップ、復元のプロセスはスムーズでした。「当社からみてRecovery Managerが特に優れている点は、導入サイクルです」とRowe氏は言います。「導入するのにかかった時間は26分くらいだったと思います。導入後、フル・テスト・リカバリを終えるまではおそらく20分でした。」そのスムーズな流れに一同は驚きました。それまでは、効果のない結果に終わるリカバリツールの開発とテストに、気の遠くなるほどの時間をかけることに慣れていたので。「あまりにもシンプルでしたから、概念実証を終える頃までに、エンジニアの1人が私の方

を見て、できればその場ですぐに注文書をちょっと切ってみたらどうかと聞いてきたので、切ってみました。」

実装が完了すると、Rowe氏とチームの他のメンバーはRecovery Manager for Active Directoryの機能を活用して、ドメインコントローラーを再起動することなく特定の属性を復元することができました。Active Directory環境のサブセグメントを容易に管理、バックアップ、復元できるようになったことで、同社が必要としていた費用効率の高いリカバリ方法がもたらされました。「効率的に、そしてActive Directoryの高度な専門知識がなくてもリカバリを行えることこそ、私たちが最も頼りにしている点です」とRowe氏は語っています。

セキュリティについての信頼

AWSのEC2インスタンスで行った各種テストを通して、Recovery Manager for Active Directoryの機能に対するRehrigの信頼は確固たるものになりました。ダウンタイムを削減すると共にデータを迅速かつきめ細かに復旧することで、同社はどんな災害が起きても対応できると思えるようになりました。「綿密な計画を取り入れることでこの環境を確実に復旧できるようになれば、それはつまり適切な保険プランを購入したということになります」とRowe氏は述べます。「この先も、当社にとって最適なながらも出番が最も少ないツールであることを願っています。」

SECURITY EXPLORERにより効率性を持続

効率的なディザスタリカバリ計画を実現したRehrigは、今度はアカウントの権限と許可の管理方法に関心を向けました。Active Directoryドメインに3,000を超えるユーザを抱える同社では、どのアカウントがどのデータへのアクセス権を持っているのかを判断するのが難しくなっていました。一部のアカウントが最新の設定とポリシーよりも古くなってからは、特にそれが深刻でした。各アカウントの権限を把握していないと、インフラストラクチャの大きな欠陥が、破損や場合によっては災害にさらされやすくなるでしょう。とはいえ、アカウントの設定を1つ1つ見てい

「(Recovery Manager for Active Directoryは)あまりにシンプルでしたから、概念実証を終える頃までに、1人が私の方を見て、できればその場ですぐに注文書をちょっと切ったらどうかと聞いてきたので、切ってみました。」

Rehrig Pacific Company, 情報/セキュリティ/IT部長, Brian Rowe氏



くプロセスは複雑でした。「大量の人員を派遣して、検証したい資産を1つ1つ、各グループと各個人のコンポーネントを調べなければなりません。そうやって問題を特定し、その設定を最新のセキュリティポリシーと基準に統合させることができたのです」とRowe氏は言います。

Recovery Manager for Active Directoryの導入と動作がいかにシンプルかを知った同社は、Quest®のSecurity Explorerを購入することにしました。Security Explorerはアクセス制御、権限、セキュリティを一元化された統合コンソールから管理できるものです。Security Explorerなら、ユーザ権限をリアルタイムに表示する機能や、明示的な権限または継承されている権限を自社のIT環境全体にわたって検索する機能などを使用して、すべてのアカウントをより効率的に簡単に管理できるようになります。また、アカウント設定に対して特定の変更または一括の変更を簡単に行うことができ、アカウントごとに手入力する必要がなくなります。こ

れらの機能や、直感的に使えるインターフェイスとコントロールにより、同社はセキュリティ全体を改善できると確信しています。「これならきっと、万全なIT環境の実現を迅速に進め、確実に達成してくれるものと思います。「問題を解決できるうえ、ただの場合当たりの対応で終わらないところが、Security Explorerを支持する理由でした」とRowe氏は話します。

QUESTについて

Questは、急速に変化するエンタープライズITの世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの爆発、クラウドサービスへの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティ脅威、規制上の要件によって生じる課題のシンプル化を支援します。Questのポートフォリオは、データベース管理、データ保護、統合エンドポイントの管理、IDおよびアクセス管理、Microsoftプラットフォーム管理などのソリューションで構成されます。